
生えてきたのは神様（候補）でした 2

国高ユウチ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

生えてきたのは神様（候補）でした2

【Nコード】

N1788P

【作者名】

国高ユウチ

【あらすじ】

生えてきたのは神様（候補）でしたの続編です。

麻耶は掌の上で腰をふりふりしながら機嫌よく踊っている神様候補に目を瞬かせた。

ちなみに現在他の面々は日光浴という名のお昼寝中だ。

普段なら彼もお昼寝の時間だが、今日に限って眠くないらしい。

頭の上の桃色の雛菊の花弁を揺らし、にっこにっこ満面の笑みを浮かべている。

「今日の僕はー、マヤと二人きりなのー 幸せ一杯、胸いっぱい ついでにおなかもいっぱいばい」

思わず突付きたくなるようなまるやかな頬をした彼は、花と同色のショートカットの髪も揺らした。

ふくふくのほっぺに満開の笑顔。

綺麗に弧を描く眉と、くるくると変わる表情が特徴の彼は、雛菊の『ヒナ』と名前をつけた。

自分でも判るほど命名のセンスがない麻耶だが、一応名前の意味はある。

雛菊のヒナと、日向のヒナ。

小春日和を思わせる素直な性格の彼は、五人の中で一、二を争う甘えん坊だ。

自作自演のダンスが終わりに近づいているのか、先ほどからちらちらと麻耶を上目遣いで見てくる彼に破顔する。

誉めてくれと期待するキラキラした眼差しは純粹に愛らしく、くるっと回ってお辞儀したヒナの頭を指先で撫でた。

「凄いぞ、ヒナ！素敵ダンスが出来たね」

「素敵ダンス？素敵で無敵！お歌は上手？」

「上手、上手。ヒナはお歌もダンスも上手！」

くりくりと指先で撫でれば、嬉しげに顔を綻ばして両手で人差し指にしがみ付いたヒナは、キヤーキヤーと奇声を上げた。

いつまでも裸で居させるわけにいかないと与えられた力で作った服を着させているのだが、デフォルメされた犬がプリントされているＴシャツと、デニム生地の上着はヒナによく似合う。

本当は野球帽みたいなキャップもかぶせたかったのだが、頭の上の雛菊にそれは断念した。

子供の頃夢見た動く人形が実体化したみたいだが、実際に彼らは意思を持ち表情豊かで面白い。

彼らの感情の機微により、頭上の花も咲いたりしぼんだりとても忙しいものだ。

一度悪戯が過ぎる彼らを本気で叱った時は、花卉が全て落ちてしまい本気で慌てた。

今はお昼寝している中で、ヒナとスリートップで喧しい悪戯っ子たちの落ち込みようにこのまま枯れてしまうのではないかと思っただ、今は風に揺れている。

強制的に私をこの地に縛り付けた男の説明では、感情の機微によるものだが、枯れるなど滅多にないので悪いことをしたらきちんと叱っていいと言われているので、きちんと躡をしている。

言葉以上に雄弁に語る花を見るのは、実は密かに最近の楽しみの一つでもあった。

ちなみに現在麻耶の指先にぶら下がり遊んでいるヒナの機嫌はとっても宜しい。

頭の花は満開で、仄かな輝きを見せていた。

感情が昂ぶると光を発する不思議植物に構造がどうなっているか気になるが、調べようがないので触れるだけに留めている。

麻耶の『力』と光と水とで成長する彼らは、神様候補という不思議生物なのだから気にしてもしょうがないのだろう。

「マ―ヤ、マヤ、マヤ、大好きだ―」

嬉しくて仕方ない、とばかりの満開の笑顔でヒナは麻耶を見詰めてくる。

瞳には愛しさや嬉しさなどの正の感情が浮かび、いたって幸せそうだった。

そんな彼を指先にぶら下げたまま、麻耶もくすりと微笑む。

始めこそ泣き暮らしていたが、この世界は中々に居心地がいい。

「ヒ―ナ、ヒナ、ヒナ、大好きだ―」

稚拙なリズムに合わせて謳えば、目を丸くしたヒナが、くしゃりと表情を崩して笑った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1788p/>

生えてきたのは神様（候補）でした 2

2011年8月21日14時57分発行